



2020年6月24日

各 位

会社名 株式会社 やまや
代表者の役職名 代表取締役社長 山内英靖
(コード番号 9994 東証第一部)
問い合わせ先 執行役員経理部長 田原口裕基
TEL (022) 742-3114

特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩し 並びに連結業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

2019年10月23日に公表いたしました2020年3月期の連結業績予想と実績値につきまして、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。また、特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩しにつきましてもその概要をお知らせいたします。

記

1. 2020年3月通期連結業績予想と実績値との差異（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 168,000	百万円 4,500	百万円 4,500	百万円 2,000	円 銭 184円47銭
今回発表業績(B)	168,168	4,163	4,227	205	18円98銭
増減額(B-A)	168	△337	△273	△1,795	—
増減率(%)	0.1	△7.5	△6.1	△89.8	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	167,750	6,894	6,942	3,216	296円65銭

2. 差異の理由

当連結会計年度におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、外食事業において2月から3月にかけて売上高の急激な減少に見舞われた結果、特に3月単月の売上は大きく減少し、営業利益および経常利益についても減少となりました。

当社グループについては、酒販事業において内飲・内食需要を取り込めたこともあって売上高は前回発表予想と大きく乖離することはありませんでした。しかし、外食事業の売上が落ち込んだことから、売上総利益が予想を下回る結果となり、物流の効率化を目指した倉庫の移転および拡大の経費が増加したことも要因となり、営業利益と経常利益についても減少いたしました。

これに加えて、外食事業において新型コロナウイルスの影響を踏まえ、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、閉店の意思決定を行った101店舗及び収益性の低下した店舗について30億89百万円の減損損失を計上いたしました。また、㈱つぼ八の、のれんの減損損失により5億6百万円の特別損失を計上しました。さらに、これらの損失計上により発生した一時差異等について繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、評価性引当額が8億43百万円発生し、繰延税金資産が8億43百万円減少しました。このため、親会社株主に帰属する当期純利益は2億5百万円で着地する結果となりました。

3. 特別損失の計上について

2020年3月期第4四半期連結会計期間において、外食事業で閉店の意思決定を行った101店舗及び収益性の低下した店舗について27億28百万円の減損損失を計上しました。また、(株)つぼ八の、のれんの減損損失により5億6百万円の減損損失を計上しました。

これにより、当期の特別損失の累計は、減損損失36億61百万円、固定資産売却損53百万円、その他95百万円、合計38億10百万円となりました。

4. 繰延税金資産の取り崩しについて

上述の特別損失の計上により発生した一時差異等について、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、2020年3月期第4四半期連結会計期間において、評価性引当額が8億43百万円発生し、繰延税金資産が8億43百万円減少しました。

これにより、当期の法人税等調整額の累計は25百万円となりました。

以 上